

議会広報研究会



平成21年7月17日(金)に千葉県内市町村議会を対象とした議会広報研究会が千葉市内で開催されました。議会だより編集委員5名が参加し、議会だよりのチェックポイントなど丁寧に指導していただきとても有意義な研究会でした。これからの紙面づくりに生かしていきたいと思ひます。

第四十五回

山武郡市議会議員研修会

平成21年7月1日に成東文化会館のぞくプラザを会場に、山武郡市議会議員研修会が開催されました。

当日は、自治功労者等の表彰の後、地方議員カウンセリング活動研究会代表 富田富士也先生から「地方議員のための住民の心をつかむ聴き方」という演題で講演をいただきました。

先生はステージから下り、議員の皆さんに近寄って身振り手振りで話をされ、時

には感情を込めた話術に、参加した議員は引き込まれるように聞き入っていました。講演の中で先生は、議員

は市民のコミュニケーターとして、市民から相談を受けたり、話をしたりする時には「話を聞く」ことはもちろんだが、相手の気持ちになって言葉や形にできない「心の声を聴く」ということの大切さを改めて認識させられました。

山武市議会としても、議



員一人ひとりが市民感覚を忘れず市民と常に向き合える人間関係づくりを大切に、身近な議会、開かれた議会を目指し積極的に議会改革に取り組んでいきたいと思ひます。



自治用語

請願

意見や要望を行政に反映させるため、議会に対して施策の実現を要望する制度で、文書を提出することによって行ひます。市民のほかどなたでもでき、請願をする場合はその内容に同意して署名する議員が必要で、これを紹介議員といひます。

陳情

請願と同様に意見や要望を行政に反映させるため、議会に対して施策の実現を要望する制度で、請願と同様文書を提出することによって行ひますが、議員の紹介は必要ありません。山武市議会では陳情も請願と同様に取扱っています。

採択・不採択

請願、陳情の内容について、願意が妥当であり、法令上、行財政上実現可能である場合に議会として、その請願、陳情に対して賛同する意味で「採択」という表現で意思決定します。

一方で、その内容に賛成できない、実現不可能であるといった場合は、「不採択」という表現で意思決定します。

議会だより編集委員会

- 委員長 井野 敬一
- 副委員長 本山 英子
- 委員 篠崎 修
- 委員 能勢 秋吉
- 委員 宍倉 弘康
- 委員 小川 一馬
- 委員 川原 春夫
- 委員 小野崎正喜

編集後記

6月議会が終わりふと気がつけば、市内はふんわりとした緑の絨毯を敷いた景色へと変わり、いつもは目立たない田んぼがとってもいきいきと、見るものに元気を与えてくれる季節：田んぼはすごいです。

第3回臨時会では、人事院からの勧告に準じ職員の手当及び勤勉手当について暫定的に0.2カ月分の削減が行われ、これに伴い議員も期末手当0.2カ月分の削減を議員発議により提案し、全会一致で議決しました。

6月議会では、国の示した緊急経済対策など、多くの議員が質問・発言するなど、まさしく熱い議会でした。

請願については、今最も重要視されている「細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期予防接種化を求める請願について」も全会一致で採択されました。

国の取り組みにより、学校現場の耐震化が一気に進み、山武市も2件ほど工事を前倒しして残す所を今年度にすべて着手できることになりました。

これからも議会一丸となり市民の安心・安全のために一生懸命働いて参ります。

さて、議会だより編集委員として3年目を迎えました。発行の際には8人の委員が、より見やすく、わかりやすく、意見を交わして頑張っています。

皆様の声をいかし議会だよりの紙面もより良いものになるよう努力していきますので、よろしくお願ひします。

編集副委員長 本山 英子